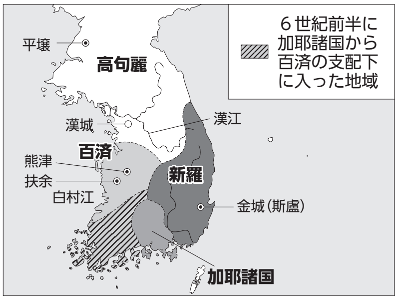
第2講　中央集権国家「日本」の成立

PART 2 ヤマト政権の発展

Chapter 1　ヤマト政権の発展

目標
氏姓制度について知ろう。
日本が朝鮮半島から撤退したのはなぜだろう？

1　渡来人と大陸文化



6世紀前半の朝鮮半島

①中国や朝鮮半島からの〔1　　　　　〕伝説
　阿知使主（**東漢氏**の祖），
　〔2　　　　〕(**西文氏**の祖)，**弓月君**(**秦氏**の祖)など。
②〔3　　　　〕の活躍→技術者集団
　錦織部（高級織物），**韓鍛冶部**（冶金），
　土師部（土師器），**陶作部**（須恵器），**鞍作部**（馬具），**史部**（文筆）など。
③〔4　　　　〕の使用→日本語表記の始まり
　石上神宮所蔵七支刀銘（奈良県），隅田八幡神社所蔵人物画像鏡銘（和歌山県），
　〔5　　　　　〕**古墳出土鉄剣銘（埼玉県），江田船山古墳出土鉄刀銘（熊本県）**など。
④〔6　　　　〕・道教や医術・易術・暦法の伝来
　百済から五経博士や医・易・暦博士が渡来。
⑤〔7　　　　〕の伝来→〔8　　　　〕の**聖明王**から**欽明天皇**へ
　戊午説（**538年，『上宮聖徳法王帝説』**『元興寺縁起』）と
　壬申説（**552年，『日本書紀』**）があり，
　崇仏派の大臣**蘇我稲目**と排仏派の大連**物部尾輿**が崇仏論争を起こす。

2　ヤマト政権の支配体制

①**氏姓制度**
　A　〔9　　　〕→同族の擬制的な血縁・政治集団。**氏上**が**氏人**たちを統率。
　B　〔10　　　〕→氏のヤマト政権内の世襲的な政治的地位を示す称号。大王が授ける。
　　※〔11　　　〕(自立的な有力豪族，葛城・和邇・平群・蘇我など)，
　　　〔12　　　〕(特定の職務で大王に仕える有力豪族，大伴・物部・中臣など)，

君（有力地方豪族，筑紫・毛野など），**直**（地方豪族），造，首，村主など。

②政治機構→大王を中心とする畿内有力豪族の連合政権

A　中央　大王―**大臣・大連**ら大夫たち（中央豪族）―**伴造**―**伴**―**部**（**品部**など）

B　地方　大王―［13　　　　　］・**県主**・稲置（地方豪族）

岩戸山古墳

③経済基盤→私地私民制・**部民制**

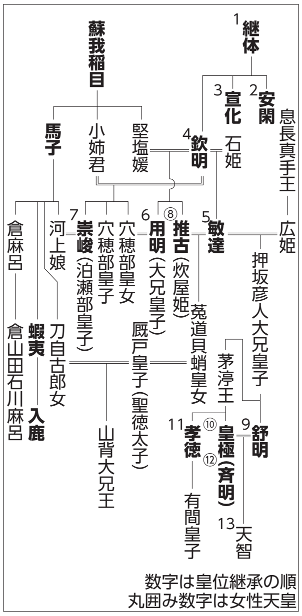
A　朝廷

直轄地として［14　　　　　］（**田部**が耕作），直属民として**名代・子代**の部を各地に設ける。

B　豪族

私有地として**田荘**，私有民として［15　　　　　］，奴隷として**ヤツコ**〔奴婢〕も所有。

3　ヤマト政権の動揺



天皇家と蘇我氏の関係系譜

①朝鮮半島経営の衰退→高句麗・新羅が強大化

512 年　ヤマト政権が**百済に任那四県を割譲**

527 年　筑紫国造［16　　　　　］が新羅と結びヤマト政権に反乱

※**継体天皇**が大連の物部麁鹿火に命じ鎮圧させる。

562 年　新羅により加耶諸国滅亡

②［17　　　　　］の独裁

蘇我氏は，三蔵（斎蔵・内蔵・大蔵）を管理して財政を把握。さらに渡来人系氏族と連携して技術力を高め，大王家との婚姻を通じて急激に勢力を伸ばした。

587 年　大臣の［18　　　　　］が大連の**物部守屋**を滅ぼす

※甥の泊瀬部皇子を病死した甥の用明天皇に替わり即位させ**崇峻天皇**とする。

588 年　蘇我馬子が**法興寺〔飛鳥寺〕**の造営に着手

592 年　蘇我馬子が崇峻天皇を暗殺

※姪の炊屋姫（敏達天皇の后）を初の女帝，**推古天皇**として擁立。

まとめ　一族が氏，家柄が姓として与えられ，ヤマト政権の大王に組織化された。高句麗の圧迫を受けた百済・新羅が任那を支配したため，ヤマト政権の朝鮮半島における影響力は著しく後退した。

Chapter２　古墳文化

目標
古墳の副葬品が変化していったのはなぜだろう？
７世紀に古墳が消滅していくのはなぜだろう？

1　古墳の変遷→古墳時代中期・後期

①**中期**（４世紀末～５世紀）

A　大阪平野で**大王の前方後円墳が巨大化**

B　前方後円墳の全国拡大

上毛野（群馬県），丹後（京都府北部），

吉備（岡山県），日向（宮崎県）など全国に拡大。

各種の埴輪

C　特徴

あ　墳丘上に**埴輪**を並べる→円筒埴輪・**形象埴輪**

い　斜面は葺石で覆われ周囲には濠や陪冢（従属的な小古墳）がある古墳も。

う　**竪穴式石室**や**粘土槨**に埋葬

え　副葬品→**被葬者の武人的性格を表す**

鉄製武器・甲冑・馬具・金銀製装身具などの**軍事的な副葬品**も増える。

お　代表的な中期古墳

太田天神山（群馬県，毛野氏の墓），

〔[1]　　　　　　　〕〔仁徳天皇陵？→堺市の**百舌鳥古墳群**〕，

誉田御廟山〔応神天皇陵？→羽曳野市の古市古墳群〕**（大阪府）**，

五色塚（兵庫県），**造山**（岡山県，吉備氏の墓），

男狭穂塚・女狭穂塚（宮崎県，西都原古墳群）など。

②**後期**（６～７世紀）→７世紀を**終末期**と呼ぶこともある（＝飛鳥時代）

A　見瀬丸山古墳（奈良県）など畿内では６世紀にも巨大前方後円墳を築造

しかし地方での前方後円墳の築造は６世紀末からヤマト政権が規制？

B　各地に円墳・方墳が激増

築造者は有力豪族に加え有力農民へも拡大。

C　特徴

あ　〔[2]　　　　　　　〕・横穴墓群の登場

岩橋千塚（和歌山県），新沢千塚（奈良県），吉見百穴（埼玉県）など。

い　装飾古墳の登場

高松塚，**キトラ（奈良県）**，竹原（福岡県）など。

う　朝鮮半島から伝来した〔3　　　　　　〕**石室**が一般化→家族墓的性格

武器などのほかに，大量の土器・農具・工具など**日常生活用の副葬品**が増加。

え　その他の有名古墳

藤ノ木，**石舞台**（奈良県，蘇我馬子？），**岩戸山**（福岡県，磐井？）など。

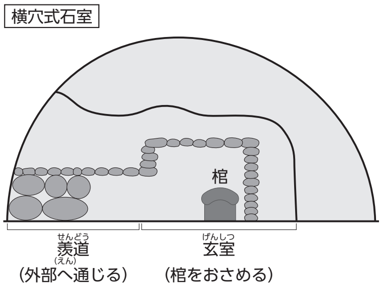
D　古墳の消滅（７世紀後半）

あ　大化の薄葬令（646年）により豪族の古墳築造が減る

い　７世紀中頃から大王の墓のみが〔4　　　　　　〕となる

う　仏教思想の流入による火葬の開始

え　**豪族の権威誇示の手段が氏寺建立へと変化**



横穴式石室の構造

2　日本文化の形成

①農耕祭祀→弥生時代から続く

豊作を祈る春の**祈年祭**と収穫に感謝する秋の**新嘗祭**。

※大王〔天皇〕即位の年の新嘗祭を**大嘗祭**という。

②呪術的風習の進展

穢れを祓い災いを逃れるための**禊・祓**，占いとしての**太占**，

真偽を判断する〔5　　　　　　〕など。

③民族信仰の展開

A　祭祀遺跡

〔6　　　　　〕**神社（奈良県，三輪山）**，**宗像大社沖津宮（福岡県，沖ノ島）**など。

B　神社建築

伊勢神宮〔内宮・外宮〕（三重県，神明造），住吉大社（大阪府，住吉造），

出雲大社（島根県，大社造）など。

C　一族の**氏神**や出身地の産土神を信仰

D　国の興りを説く〔7　　　　　〕・**伝承**の形成

『**帝紀**』（神武天皇以降の系譜），『**旧辞**』（宮廷の説話・伝承）の編纂。

まとめ
被葬者の武人的性格が強まっていったため，古墳の副葬品が変化した。
薄葬令が出され，豪族の権威誇示手段も変化したため，古墳は消滅した。

第2講 PART2 確認問題

1 氏と，その祖となった渡来人との組み合わせとして正しいのはどれか。

① 西文氏－王仁　② 西文氏－阿知使主
③ 秦氏－王仁　④ 秦氏－阿知使主

2 552年に日本に仏教が伝えられたという説の根拠となっている書物は何か。

① 『古事記』　② 『日本書紀』
③ 『元興寺縁起』　④ 『上宮聖徳法王帝説』

3 特定の職務で大王に仕える有力豪族に与えられた姓はどれか。

① 直　② 臣
③ 君　④ 連

4 6世紀初めに，新羅と結んで反乱を起こした豪族はだれか。

① 筑紫国造磐井　② 物部守屋
③ 物部麁鹿火　④ 蘇我馬子

5 中期古墳にあてはまるものはどれか。

① 吉見百穴　② 岩橋千塚
③ 新沢千塚　④ 誉田御廟山

6 後期古墳のうち，装飾古墳にあてはまるものはどれか。

① 高松塚　② 造山
③ 五色塚　④ 新沢千塚

7 呪術的風習のうち，真偽を判断するのはどれか。

① 太占　② 盟神探湯
③ 禊　④ 祓

8 奈良県三輪山にあるのはどれか。

① 住吉大社　② 伊勢神宮
③ 大神神社　④ 宗像大社沖津宮

第2講　PART２　確認問題　解答

1 解答：①　**阿知使主**は東漢氏の祖で，秦氏の祖となったのは**弓月君**である。

2 解答：②　③と④は538年に日本に仏教が伝えられたという説の根拠となっている。

3 解答：④　①は地方の豪族，②は自立的な有力豪族，③は地方の有力豪族に与えられた姓である。

4 解答：①　②は**蘇我馬子**によって滅ぼされた豪族，③は筑紫国造磐井の反乱を鎮圧した豪族，④は**物部守屋**を滅ぼした後，崇峻天皇を暗殺した豪族。

5 解答：④　①～③は後期古墳にあてはまる。

6 解答：①　後期に登場した装飾古墳には，**高松塚古墳**のほか，キトラ古墳，竹原古墳などがある。

7 解答：②　①は鹿の骨を焼いて，そのひび割れの形から占うこと，③と④は穢れを祓い，災いを逃れるために行うもの。

8 解答：③　①は大阪府，②は三重県，④は福岡県にある。